

聴講無料・要申込 定員：200名（申込順）



インドネシアの 泥炭地開発・環境問題

—日本（加工貿易国）とインドネシア（資源国）の関係

インドネシアでは1985年ごろよりアブラヤシの植栽が大規模に行われ、それはこの地域に存在する熱帯泥炭地にも爆発的に拡大しました。インドネシア国土の8%を占める泥炭地はそれまで泥炭湿地林として存在してきましたが、この大規模開発により乾燥化・劣化が進み、1990年代末より大規模な火災が発生するようになりました。私たちはこの荒廃した泥炭地の回復をインドネシア地域の人々と手を取り合いながら実施しています。

一方、この泥炭地の荒廃問題から、インドネシアの資源輸出国としての問題が見えてきます。今日、これらの大規模な植栽と輸出の急増は、森林減少、泥炭火災などの問題のみならず、インドネシア製造業の停滞にもつながっています。このようなインドネシアの資源国としての展開と表裏の関係になるのが加工貿易を柱としてきた日本の製造業の発展です。

講演では、インドネシアの泥炭環境問題、泥炭地において生産されるアブラヤシの輸出と日本への輸入、さらに資源国としてのインドネシアの特質と問題点、それと表裏の関係にある日本の加工貿易国としての特質と問題点、そしてその解決の方策について考えます。



みずの こうすけ
講師 水野 広祐

地球研／京都大学東南アジア地域研究研究所・教授

やまなか まなぶ
聞き手 山中 大学
地球研・研究員
神戸大学名誉教授

日時

平成31年

3月12日(火)

18時30分～20時00分
受付開始 18:00

会場

ハートピア京都
3階大会議室

お申込み

※アーカイブ配信用に
ビデオ撮影を行ないます

聴講希望の方は、開催日、お名前、連絡先を記入のうえ、
メール・電話・FAXにて右記までお申込みください。

総合地球環境学研究所 広報室

TEL. 075-707-2128

FAX. 075-707-2106

E-mail. shimin-seminar@chikyu.ac.jp

【主催】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
http://www.chikyu.ac.jp

【後援】

京都府
京都市

京都府立総合社会福祉会館
会場 ハートピア京都

〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地

市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口すぐ
ご来場に際しては市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用
ください。

